



## 『 血液を固めるチカラ 』

---

春は歓送迎会シーズンですね。ついつい飲みすぎて足がふらついたり、そのまま転んで手や膝を擦りむいたりしていないでしょうか？

傷口から出た血液は、しばらくすると固まってそれ以上は流れません。もし血液が固まらなければ、血液は延々出続けてしまいます。この血液の固まりやすさを調べるのが血液凝固検査です。

血液凝固には、凝固因子と呼ばれるタンパク質のはたらきが関係しています。凝固因子は、主に肝臓で作られるため肝臓が悪い方は必然的に凝固機能も低下します。

心臓が悪くて血液を送る力の弱い方、脳梗塞など血管が狭く詰まりやすい方は、血管内で血が固まって血管が塞がらないようにワーファリン等の抗凝固薬を飲んで固まりにくくします。

また、外科手術の前にはしっかり血が止まるかを検査で調べてから手術に入ります。通常の健診では調べることのない検査項目ですが、肝臓の健康状態で影響の出てくる検査項目です。

肝臓を壊さないよう飲み過ぎにはくれぐれもご注意を！



鹿児島厚生連病院  
臨床検査技師  
藤 健介